

第15回 定例ワールドカフェ (1/21) 感想 (2023.2.15 現在)

話題提供：助産師から見える性教育活動の実際—つながることの土台をつくる—

提供者：田中みどり (医療法人宝生会 PL 病院 助産師)

当日参加者：8名

感想 (Google Form) 回答者：3名 (分野_教育1名、医療2名)

- ・地域での性教育の実践の様子をお聞き出来てよかったです。2003年の七尾養護学校事件から始まった性教育バッシングで20年近く性教育がストップしていました。なので、今の妊婦さんはほとんど性教育を受けていないと思われます。文科省は「生命の安全教育」を言っていますので、今がチャンスです。学校では「性と生の教育」や「思春期教育」という名称で生き方や人権も考える機会にしたいと願っています。今後も情報など頂きたいです。
- ・貴重なお話をありがとうございました。10代の子どもに対して、妊娠前からのヘルスケアを通して信頼関係を築き、妊娠後も継続支援出来たという実践事例を聞かせていただきとても勉強になりました。思春期の子どもが「自分の事を本当に心配してくれている。聞いてみよう。話してみよう」と思うことが、問題行動からの行動変容のきっかけになるんだと思いました。ありがとうございました。
- ・録画はできませんでしたが、田中さんと病院、学校の先生方が要支援の子ども(親子)を中心に据えて、既存の業務を超えた支援を考え、実際に行動する情熱と勇気に感動していました。その後、その子どもに受援力が備わって人生や生活が自分自身で豊かになるよう考え行動できるようになった後日談まで聞いて、それぞれの持ち場で最善を尽くして、多職種と円滑に連携するこの会の方向性は間違っていないと確信しました。田中さん、すごいです。つながることの土台をつくる…、どこから誰から始めても遅くないですよ。